

ワークショップの趣旨と主題

上尾中央総合病院の「理念」は、「高度な医療で愛し愛される病院」です。

私たち上尾中央総合病院の職員一同は、当院の崇高な理念を実現するために、具体的に
1) 地域住民、地域医療機関と密着した医療、2) 連携組織による24 時間救急体制の実施、
3) 何人も平等に医療を受けられる病院、4) 医療人としての自覚と技術向上のための教育、
5) 最新鋭医療機械導入による高度な医療、6) 予防医学の推進に向けた健診業務を
6つの目標として掲げています。

すなわち医学・医療が高度に専門分化されつつある一方では、地域を基盤とした総合的・
全人的な医療が国民・社会から強く要請されています。実際、平成16年度から必修化された
医師臨床研修制度では、プライマリケア重視の方針が強く打ち出されました。

そのため、初期2年間の臨床研修医を受け入れている全ての病院・診療所に勤務する医
師の方には、指導医としての教育能力を身につけることが求められる時代となっています。

上尾中央総合病院の基本方針の一つとして、医療の質の向上・患者サービスのために、
平成25年4月に総合診療科を新規開設しました。また平成27年4月には救急科と統合し
救急総合診療科としました。当院の初期臨床研修プログラムの大きな特徴は、①総合診療
部門と②救急部門からなる救急総合診療科を当院における臨床研修で最も重要な診療科で
あると位置付け、各診療科の専門医に協力を求め、さらに③大規模病院では研修不可能で
ある、へき地医療研修を必修としたことにあります。今後の我が国の保健・医療・介護を
めぐるキーワードの一つは「地域包括ケアシステムと多職種連携」です。

今回のワークショップ（WS）では、主題を「地域における急性期中核病院の卒後臨床研
修プログラム・プランニング」とし、WS 参加者の方が「研修医が基本的臨床能力を2年間
で修得できるために、研修プログラム（研修目標・教育方略そして評価）とは何かを理解
し、適切な教え方と正しい評価能力を身につけ、研修医から愛される指導医になる」こと
をゴールとしました。

本WS は、参加者を上尾中央総合病院の医師に限定せず、当院の「高度な医療で愛
し愛される病院」の理念に共感いただける医師の方々を広く募集します。今までに、北は
北海道から南は沖縄まで多くの方からお申込みをいただきました。

本WSの修了者の方が、教育原理の基本を理解し、望ましい指導医としての態度（姿勢）
がとれるようになり、全国各地の医療施設に戻り継続的な臨床研修の改善に積極的に寄与
されることを祈念します。

ワークショップ ディレクター 徳永英吉
チーフプランナー 熊坂一成
Co プランナー&チーフTF 黒沢祥浩